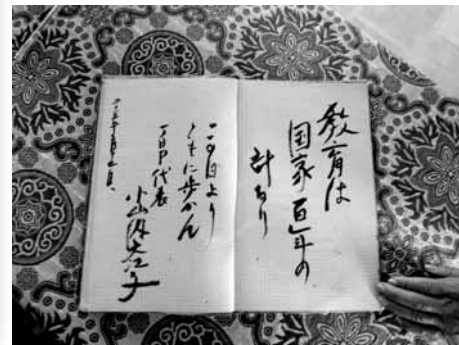




新校舎贈呈式で記帳する小山内代表



皆さま、日ごろ全国各地から寄せられる温かいサポートに心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

私共は、1993年9月の設立以来、「できることからはじめよう」をモットーに、活動の輪を広げて参りました。2011年7月には、長年の教育支援活動が日本とカンボジアの相互理解の促進に貢献したことが評価され、外務大臣表彰を受賞いたしました。

昨今、カンボジアには日本企業が多数進出しておりますが、私たちが20年前から草の根レベルで教育普及、人材育成を継続してきたことが、この国の自立に確かに繋がっていることを皆さまと一緒に誇りにしたいと思います。

2012年度は、カンボジア支援を軸としながら、ネパール、東日本大震災の活動にも力を入れ、20周年事業をスタートさせることを目標と致しました。

学校建設は290棟に達し、ネパールでは2棟の贈呈を完了、更に2棟を着工しております。教育支援では、各学校で音楽や美術教育が定着するような取り組みが成果を上げております。尚、児童養護施設CCH(幸せの子どもの家)の支援は10年が経過し、60名が自立しております。運営面では、中期計画・目標に向けて事業を進めると共に、JHP行動基準を制定することができました。

2013年度は、長期化が予想される震災復興活動に対応しながら、カンボジアやネパールでの安定的な校舎建設、衛生教育の充実、そして、活動を支えてくださる会員や支援者の方々の輪を今まで以上に広げることが目標としています。

カンボジア派遣ほか国内外派遣者は既に1500名を超え、国際ボランティア・カレッジは8期目に入ります。私共が目指す地球市民教育がどのような成果を生んでいるか、会報や記録集でも詳しく報告いたします。

私たちは、行動基準の1つに、「皆さまからのご浄財を責任を持って効果的に活用すること」を掲げています。ご支援くださる皆さまの思いに応え、報告を誠実、丁寧に行うことが絆を深め、国際協力の裾野を広げるものと考えております。本年も、見やすく、分かりやすい報告書を目指しましたが、皆さまのご意見、ご感想をお待ちしております。

本来、皆さまにお会いしてお礼とご報告を申し上げるべき所ですが、毎年この場でのあいさつに代えさせていただきます。

2013年度は20周年記念イベントや300棟目を記念するカンボジアツアーも予定しております。様々な機会に皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

小山内美江子

## 設立経緯

- 1991年、JHPの前身であるJIRACとして湾岸戦争後に取り残されたクルド難民の救援を学生達とイランで実施した。
- 同年12月、小山内美江子と二谷英明らがカンボジア難民救援のため、タイ国境キャンプを視察し準備に入る。
- 1992～93年、タイ国境からのカンボジア帰還難民救援活動の中から、子どもたちのための学校建設の必要性を把握。
- 1993年9月15日にJIRACの中から「カンボジアのこどもに学校をつくる会」を設立。
- 1997年4月より会費会員制に移行して、「JHP・学校をつくる会」に改称。
- 2000年10月に東京都より特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、11月に登記完了。
- 2004年1月1日に日本で19番目に国税庁より認定NPO法人の認定を受けた。

1993 カンボジア活動隊派遣開始(以後年2～3回を継続)。(写真A)

1994 JEN設立に代表小山内が参画。駐在員1名をユーゴスラビアへ派遣。

1995 阪神淡路大震災発生。当日から救援活動開始。(写真B)  
カンボジアにブノンペン事務所設置。旧ユーゴスラビア隊を定期的に派遣。

1996 音楽教育プロジェクト開始。カンボジアに音楽教師1名派遣。  
アフリカに毛布を送る運動の構成団体として学生の現地派遣開始。

1997 地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)の構成団体となる。

1998 カンボジア教育省とNGO活動の合意書を結ぶ。(写真C)

1999 美術教育プロジェクト開始。日本人教師1名派遣。初の絵画展を開催。

2000 ブノンペン市認定の音楽教師7名を誕生させる。

2001 JENの構成団体としてインド地震救援隊4名派遣、テントなどを支援。(写真D)  
カンボジア王国と覚書を交わし正式なNGOに認められる。

2002 ユニセフと合同でアフガニスタン支援実施。駐在員1名派遣。  
JHP初の孤児院完成。CCH(幸せの子どもの家)支援開始。(写真E)

2003 JHP初のラオス校舎完成、ボスニア活動隊4名派遣、カンボジアには100棟目の校舎完成。

2004 新潟水害、中越地震の支援活動実施。

2005 カンボジアにて第1回音楽コンテスト実施(以後年1回実施)。  
三宅島帰島ボランティア支援活動に参加。

2006 JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金スタート。  
小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ 講師。  
代表小山内がカンボジア王国よりモニサラボン大十字勲章受賞。

2007 設立15周年記念祝賀会を開催。マーチングバンド、CCHの子どもが来日出演。

2008 1人1万円の呼びかけで631人が寄付参加するユニークな考えが成功し、200棟記念校舎が完成。(写真F)  
代表小山内が第20回毎日国際交流賞を受賞。

2009 国際ボランティア・カレッジが第3回浄土宗共生(ともいき)・地域文化大賞を受賞。  
新たな支援対象国の候補としてネパール調査を実施。

2010 アカウンティビリティ・セルフチェック2008を実施(詳細は裏表紙を参照)。  
学校建設の実績が250棟を超える。

2011 東日本大震災発生(3月11日)。仙台市若林区、南三陸町にて支援活動を行う。  
平成23年度外務大臣表彰を団体として受賞。  
JHP初となるネパールでの学校建設を開始する。

2012 JHP創設者の一人で元副代表の二谷英明氏が1月7日に逝去する。  
公益財団法人かめり財団より、「第5回かめり賞」の表彰を受ける。

2013 JHP初となるネパールでの校舎が2棟完成し、贈呈式を行う。



(写真A)



(写真B)



(写真C)



(写真D)



(写真E)



(写真F)